

平成25年度予算見積調書

課室名：水辺再生課
 担当名：水辺再生事業担当
 内線：5116 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B43	川のまるごと再生プロジェクト推進費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	川のまるごと再生プロジェクト推進費	
事業期間	平成24年度～平成27年度	根拠法令	河川法第9条第2項	戦略項目		10	みどりと川の再生		
				分野施策		040103	川の再生		
1 事業の概要 平成20年度から進めている「川の再生」の取組により県内各地で芽生えた川を守り育てる活動をさらに広げ、県民ムーブメントにする必要がある。 そこで、川の再生を線的、面的に広げるため、市町村のまちづくりと一体となって取組を進める。 (1) 調査・設計費 569,000千円 (2) 施設整備費 2,231,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 調査・設計費 569,000千円 施設整備内容の検討に必要な調査・測量・設計 イ 施設整備費 2,231,000千円 遊歩道・親水護岸等の整備、河原の再生 (2) 事業計画 ア 平成23年度 ・平成24年度に着手する河川の選定 6河川 イ 平成24年度 ・施設整備、調査・設計 6河川 河原の再生、遊歩道整備、親水護岸整備 ・平成25年度に着手する河川の選定 4河川 (ほか農林部関連1河川) ウ 平成25年度～平成27年度 ・施設整備、調査・設計 10河川 河原の再生、遊歩道整備、親水護岸整備 (ほか農林部関連1河川) (3) 事業効果 地域と連携してゆとりとにぎわいのある河川空間の創出を行うことで、「川の再生」に関する地域活動が全県的に広がり、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」が実現する。 また、県民一人ひとりが地域に誇りを持ち、自分たちの手で自立した地域をつくる自立自尊の社会が実現する。 県民が川の再生に取組む河川の延長 : 平成22年度末：371km→平成28年度末：550km (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ・川の国応援団美化活動団体による清掃活動。 ・地元自治会や河川愛護団体等、地元市町とともにワーキングを設置し、整備計画、維持管理について検討。					
2 事業主体及び負担区分 県 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×7.5人=71,250千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	2,800,000	県債						145,000	1,579,329
前年額	1,220,671							179,671	